



看護・医療福祉研究部門

文部科学省選定 広島文化学園 研究ブランディング事業

認知症カフェ第1回「あがりんさい」

1. 日 時 平成29年6月3日

2. 場 所 呉市阿賀集会所

3. プログラム

(1) 広島文化学園大学対人援助センター HBG看護カフェ紹介(土肥教授)

(2) フラダンス: モハラ・ナー・プアナニ

演奏: アンサンブル

学生: 健康調査 血圧、握力、体重、認知機能

教員: 健康相談

4. 参加者: 70名

<一般参加者>

西新開自治会長 西新開老人クラブ会長 呉市社会福祉協議会、認知症カフェ〇△□

地域住民: 阿賀、東広島黒瀬町、広、呉

<サポーター>

教員: 土肥敏弘教授、加藤重子教授、森田克也教授、林君江淮教授、風間栄子講師、
高橋登志枝講師、岡田京子助教、空本恵美助手

学生: 認知症看護強化コース4年生2名、認知症看護強化コース3年生7名、

吹奏楽部 1, 2年生 3名

呉高専: 教員2名、生徒4名

5. 概要

呉・阿賀キャンパスでは、高齢者の介護予防を中心とした「高齢者カフェ」と認知症予防を中心とした「認知症カフェ」を創設し地域住民の皆様と共に健康寿命の延伸、認知症になっても住み慣れた地域で家族と共に暮らせる社会を目指して研究・教育・地域貢献に努めてまいります。「認知症カフェ」は、地域の皆様に親しんでいただき、気軽に訪ねていただけるようにとの思いを込めて「あがりんさい」と名付けました。

「認知症カフェ あがりんさい」では、「カフェ」の開催と共に呉市にある認知症カフェとの連携、

地域の機関との連携を図るため連携会議も予定しております。と紹介しました。その後、フラダンスでオープニングを飾り、健康調査と会を進め、足湯や学生との交流に大変喜ばれました。

認知症看護強化コースの学生の認知症ケアに関する話にも興味を示し、今後も参加して認知症を予防したいと意欲を示されました。

楽しみになるイベントと、健康調査と介護予防・相談を継続していくことをお伝えして閉会しました。

6. 結果

- (1) 参加者のうち高齢者は26名　うち後期高齢者75歳～87歳　17名、
前期高齢者　9名

(2) アンケート結果

- 1) 36枚配布　22枚回収、回収率　61. 1%

2) 感想(自由記載)

- ・楽しく過ごしました。ありがとうございました。
- ・若い人が良くしてくださったありがとう
- ・ぜひまたきます
- ・今日はたいへん楽しかったです
- ・地域に密着した催しは非常に有意義なことなので継続し発展することを期待します。
- ・普段は顔をあわせない人と話せました
- ・近くでこうしたイベントがあるのはありがたいです。今後の開催を楽しみにしています。
- ・たいへん楽しくありがとうございました。後の会話はよかった
- ・フラダンスがとてもすてきでした。自分もやってみたいです。フラも音楽も心がウキウキします。
- ・フラダンス　手話と説明がありました。先生と一緒にフラダンス＝手話ができたらとおもいました。(ふるさとフラダンス2番3番は次回紹介すると説明されていたので期待しています。
- ・先生がスバラシイ楽しかったです。司会の先生が楽しかった。参加させていた
だき良かったです
- ・非常に楽しい会でした、老人会の活性化のために非常に参考になりました。

7. カフェの様子



＜オープニングセレモニー「モハラ・ナー・プアナニの皆さんによるフラダンス」に魅了＞



＜看護学部吹奏楽部によるアンサンブル＞



＜認知症看護強化コース学生による「足湯はじめました」も好評＞



＜記録係の呉高専の教員、看護学部教員（保健師）＞



＜真剣に認知症機能検査に取り組む参加者＞



＜参加者と話が弾む呉高専の学生、教員＞



＜阿賀地域の皆さんとHBG 看護カフェ責任者
(手前)＞



＜中新開老人クラブ会長の話に耳を傾ける
大学院教授、学生＞



＜4年次認知症看護強化コース実習修了者による認知症の非薬物療法の説明＞



＜認知症看護強化コース学生、教員
第1回「あがりんさい」カフェを終えて＞

7. アンケート結果





